

熊本北部流域下水道 指定管理者 令和4年度(2022年度) 管理運営評価票

所管部課：土木部下水環境課

**I 施設の管理概要**

指定管理者名	九テク・熊環・熊エンジニアリング委託業務共同企業体		
指定期間	令和4年(2022年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日まで		
施設概要	設置目的	生活環境の改善と公共用水域の水質の保全を図る	
	施設区分	下水道法第25条の2の規定に基づき熊本市、合志市及び菊陽町を区域とする下水処理施設（処理場1箇所、ポンプ場2箇所、幹線管渠23.3km、全体計画処理面積4,900.7ha）	
指定管理料	818,260,000円		

**II 管理運営の評価**

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
別紙のとおり			
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>令和4年度から新たな指定期間が開始し、前年度までの管理運営から電力費（高压分）を県発注に切替えたり、消化ガス発電を廃止したりと大きな変更があった。</p> <p>これに伴い、流入水量1m<sup>3</sup>当たりの発生汚泥量やエネルギー削減量、CO2排出量が前年度に比べ増加したが、本業務の最重要指標である放流水質におけるBOD・COD等の管理目標値は達成し、業務全体として適正な維持管理を行っているものと認める。</p>			

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日		内 容	
施設の運転操作監視	365日	2～4人		
施設の保守・点検	日常点検	365日	2～4人	再委託分を含む
	定期点検	255日	2～3人	再委託分を含む
施設清掃・緑地管理	日常清掃	52日	1～2人	再委託分を含む
	定期清掃	52日	2～4人	再委託分を含む
保安・警備	365日	1人		
水量・汚泥計量、成分分析等	244日	1～4人	再委託分を含む	
汚泥沈砂等処理	281日	1～3人	再委託分を含む	
排ガス悪臭騒音等計測	3日	2人	再委託にて実施	
運転データ等記録保管	365日	1人		

【点検・調査結果及び評価】

各作業項目は、適正な日数と人員により実施されており、良好であると認める。

### 3 管理経費の収支状況

① 収入		
項目	内 訳	金額(円)
指定管理料	流域下水道の運転操作、維持管理、簡易な修繕等	818,260,000
合 計		818,260,000
	収入未済額	0
	うち利用料金収入分	0

② 支出		
項 目	内 訳	金額(円)
運転管理費	消耗品材料費・車両費・賠償責任保険費 委託業務共同企業体構成企業における留保分を含む	293,483,686
光熱水費		5,039,251
分解整備工事		64,598,820
修繕費		20,747,348
業務委託費	沈砂・し渣・脱水ケーキ運搬処分、電気計装設備点検等	310,388,106
薬品費	高分子凝集剤等	75,996,430
普及啓発費		395,523
合計		770,649,164

#### 【点検・調査結果及び評価】

管理経費は、県の委託料の範囲内で執行されており、良好であると認める。  
当年度は、脱水ケーキ処分等について、当企業体が当初想定していた額を大きく上回る費用があったが、当年度の分解整備工事や修繕を企業体職員自らで施工するなど、様々なコスト削減努力を行うことにより想定額の範囲内に抑えられており、経験豊富な民間企業のノウハウを生かした運営が行われているものと評価できる。

### 5 意見・苦情等の対応

意見・苦情等	改善状況
該当なし	
【調査結果及び評価】	
—	

### 6 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指 摘 事 項	改善内容・結果
該当なし	
【調査結果及び評価】	
—	

### 7 その他

該当なし
------

## II 管理運営の評価 - 1 管理業務の水準の評価 (熊本北部流域下水道)

管理業務の水準を表す指標						
放流水質			管理目標基準	令和4年度(平均値)	備考	
BOD (mg/l)			6以下	4.0		
COD (mg/l)			10以下	6.6		
SS (mg/l)			5以下	1.8		
大腸菌群数(個/cm <sup>3</sup> )			10以下	0		
透視度 (cm)			90以上	>99		
窒素含有量(mg/l)			20以下	12		
燐含有量(mg/l)			2以下	1.5		
発生汚泥削減量(率)			令和3年度	令和4年度	4年度-3年度	
ケーキ量(t/年)			13,003.9	13,689.4	685.5	
流入水量(m <sup>3</sup> /年)			25,157,716	24,835,784	-321,932	
1m <sup>3</sup> の量(g/m <sup>3</sup> )			516.9	551.2	34.3	
エネルギー削減量(率)			令和3年度	令和4年度	対前年度比	
浄化センター電気使用量(kWh/年)			5,133,711	7,063,425	5.83%	
清水ポンプ場電気使用量(kWh/年)			1,123,100	1,080,900		
弓削ポンプ場電気使用量(kWh/年)			366,110	373,650		
消化ガス発電量(kWh/年)			1,480,590	-		
小水力発電量(kWh/年)			107,405	52,304		
合計(kWh/年)			8,210,916	8,570,279		
流入水量(m <sup>3</sup> /年)			25,157,716	24,835,784		
原単位(kW/m <sup>3</sup> )			0.326	0.345		
CO <sub>2</sub> 排出量			令和3年度	令和4年度		対前年度比
流入下水道		m <sup>3</sup> /年	25,157,716	24,835,784		26.29%
電気 係数:0.555	浄化センター	kW	5,133,711	7,063,425		
		CO <sub>2</sub> kg	2,849,210	3,920,201		
	清水ポンプ場	kW	1,123,100	1,080,900		
		CO <sub>2</sub> kg	623,321	599,900		
	弓削ポンプ場	kW	366,110	373,650		
		CO <sub>2</sub> kg	203,191	207,376		
合計		CO <sub>2</sub> kg	3,675,722	4,727,477		
水道 係数:2.000	浄化センター	m <sup>3</sup> /年	9,956	3,402		
		CO <sub>2</sub> kg	19,912	6,804		
	清水ポンプ場	m <sup>3</sup> /年	5	63		
		CO <sub>2</sub> kg	10	126		
	弓削ポンプ場	m <sup>3</sup> /年	4,114	3,882		
		CO <sub>2</sub> kg	8,228	7,764		
合計		CO <sub>2</sub> kg	28,150	14,694		
LPG 係数:3.000	浄化センター	kg/年	35.7	28.8		
		CO <sub>2</sub> kg	107	86		
A重油 係数:2.710	浄化センター	L/年	1,781	923		
		CO <sub>2</sub> kg	4,827	2,501		
	清水ポンプ場	L/年	91	152		
		CO <sub>2</sub> kg	247	412		
	弓削ポンプ場	L/年	311	44		
		CO <sub>2</sub> kg	843	119		
合計		CO <sub>2</sub> kg	5,917	3,032		
高分子凝集剤 係数:6,500	浄化センター	t/年	61.2	60.6		
		CO <sub>2</sub> kg	397,800	393,900		
次亜塩素酸ソーダ 係数:320	浄化センター	t/年	412.7	460.8		
		CO <sub>2</sub> kg	132,064	147,456		
ガソリン 係数:2.32	浄化センター	L/年	1,623.56	1,659.00		
		CO <sub>2</sub> kg	3,767	3,849		
CO <sub>2</sub> 合計		kg/年	4,243,527	5,290,494		
流入下水比		kg/m <sup>3</sup>	0.1687	0.2130		
見学者数の増減(率)			平成31~3年度平均	令和4年度	増加率	
			68	87	27.9%	
クレーム数の増減			令和3年度	令和4年度	増加率	
			0	0	-	